

健康第一の毎日が、五養茶のおかげでもっと健やかに。  
「天職」と言われる保育士の仕事を、45年続けています。



素肌にポイントメイクだけで撮影

エルブ・リフレッシュ  
エルブアクティブビューティーズ  
長沢 美津子さん (70歳)  
群馬県桐生市在住  
使用歴 / 17年3ヵ月

2005年の発売当初よりエルブジュール化粧品を愛用している長沢美津子さん。年齢を感じさせない透明感あるお肌で、「シワもシミもないし、きれい！」と褒められることも多いそうです。そんな長沢さんの職業は、保育士。経歴およそ45年の大ベテランです。

「26歳くらいまでは会社員をしていましたが、『一生やれる仕事をしたい』と、現在も勤める保育園に転職。パートをしながら資格を取りました。」

『天職だね』と言われるほど、子供たちと心から向き合い、今も保育の現場で生き生きと輝く長沢さん。現在は午前中のパート勤務で、0歳児～5歳児まで、毎日様々なクラスの補助に入っているそうです。

「子供たちが毎朝『おはよう！』と笑顔で駆け寄ってくれるのが嬉しくて。子供は、その瞬間その瞬間を、全力で生きている存在。だから私も、子供と一緒にいる時は本気で遊んで、本気で向き合います。そうやってたくさんの喜びを共有しながら、育ててあげたいと思っています。」



保育園で半日の勤務を終えた後、なんと毎日お友達と山へウォーキングをしに行っているという長沢さん。エアロビクスやヨガにも通うなど、とってもアクティブ！もともと元気で体調の乱れもほとんどないという長沢さんですが、ここ2年ほどは五養茶を毎日欠かさず飲むようになり、さらに体調が良くなったそうです。

「もともと高くなかった血圧がさらに下がり、平熱も35℃台から36℃台になりました。良さを実感して友人や姉たちにお勧めすると、やはり『血圧が下がった』『平熱が上がった』『便秘が良くなった』という喜びの声がたくさん。高血圧で薬も飲んでいた義兄は血圧が130くらいに落ち着いて、お医者さんに不思議がられたそうです。」

体が資本のお仕事だからこそ、健康の大切さを実感している長沢さん。健やかに、気持ちよく過ごせる毎日に、五養茶が役立っているようです。

「これからも健康第一で、仕事はもちろん、お花を育てたり、畑をやったり、そんな趣味の時間も大切にしていきたいです。また、自分が暮らす地域のために、できることは少しでも貢献していきたい。肌はエルブできれいに、体は五養茶で健やかに、これからも楽しく元気に過ごせる毎日が続けていきたいです。」



# エルブだより 154

2023年 1月号  
お客様コールセンター  
0120-268-525

美しさのルーツ ～ エルブジュール 植物図鑑 ～



## Apple リンゴ

6000年前には栽培が始まり、6世紀頃からはヨーロッパで品種改良が行われていたというリンゴ。涼しい気候を好む木であることからヨーロッパ北部で盛んに栽培され、やがて17世紀になると、移民と共にアメリカ大陸へと伝わりました。「1日1個のリンゴは医者を送る」と、健康に役立つ果実として古くから重宝され、実際、近年では心臓病や脳卒中、肥満などの予防効果が実証されています。日本へは平安時代に「林檎」の名前と共に中国から伝わり、「ワリンゴ」として一部地域で現在も栽培されていますが、国内で広く食されている「セイヨウリンゴ」がアメリカから伝わったのは、幕末のこと。明治時代には水菓子と呼ばれて珍重されていました。

頭皮への効果

- ダメージを回復し、健やかに保つ

the blessing of nature for cosmetics that shine on you...





# 「五養茶」誕生物語

女性達の素肌を身体の内側から輝かせてきた「五養茶」は、今から約50年前、(株)エルブ創業者 故吉村衣代の体験をきっかけに誕生しました。

今から50年前：

当時28歳だった吉村衣代は、家族でサウナを経営し、寝る間を惜しんで働く日々が何年も続いていた。そんな彼女がある日襲ったのが、背中とお腹の、立つていられないほどの痛み。胆のう炎と診断され、すぐに入院することを勧められました。



先生…治りますか？  
すぐに入院しましょう！

減量にも成功し、健康を取り戻した吉村でしたが、もう一つ、大きな悩みがありました。それは、20歳前から出来始めた顔二面の酷いニキビです。



「この漢方茶で肌もきれいにすれば…。時にはそう思い、4つの漢方茶を愛飲しました。すると、胃腸もきれいになり、肌が本来持っている機能が目覚めたのでしよう。徐々に肌が回復していくのがわかりました。

しかし、サウナ経営の中心を担う吉村は、入院もままなりません。思案した吉村は、近所に住む一人の男性を訪ねました。

その人は、青木道夫先生。戦前、満州に渡って鍼灸(しんきゅう)と漢方を学んだ、中国医療の先駆者でした。「これを煎じて飲んでください」と、連銭草(れんせんそう)と熊柳(くまやなぎ)という漢方薬を手渡されます。



これを煎じて飲んでください。

加えてこの頃、エルブジュール化粧品の前身でもある植物化粧品も使い始めたことで、長年悩んでいたニキビは日に日に目立たなくなっていきました。

こうして、吉村は、夢にまで見た白く輝く、すべての素肌を叶えたのです。

身体の内側と外側、両面からいたわることで素肌が美しくなり、身体も健やかにになると確信した吉村は、その後、4つの漢方茶に「養稔果(ぼんねんか)」を加え、商品化。5つの茶葉で五臓を養う「五養茶」として、誰もが飲めるよう販売を始めました。



以来、半世紀に渡り「五養茶」は、素肌を内側から輝かせ、毎日を生き生きと健やかに過ごすための健康美容茶として、多くの人に飲み継がれています。



飲み継がれて50年。  
5つの茶葉で五臓を養う「五養茶」が、肌を内側から輝かせ、体を健やかに整えます。

内容量/28包 700g  
会員価格/4,320円(税込)  
希望小売価格/6,480円(税込)

 <p><b>ハトムギ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利尿作用</li> <li>健胃整腸</li> <li>湿疹、イボ、シミ、ソバカス、シワ改善</li> </ul>	 <p><b>養稔果</b> ぼんねんか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>免疫力を正常に保つ</li> <li>シワ、乾燥肌改善</li> <li>血糖値を正常化する</li> </ul>	 <p><b>ベニ花</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷え解消</li> <li>血行促進</li> <li>赤ら顔改善</li> </ul>	 <p><b>ハブ茶</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>便秘解消</li> <li>シミ、ソバカス、ニキビ、吹き出物改善</li> </ul>	 <p><b>雲南茶</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解毒作用</li> <li>のどの渇きを癒す</li> <li>ニキビ、乾燥肌改善</li> </ul>
--	--	---	--	--

参考：上海人民出版社「中薬大辞典」、自然社「臨床中医学」

すると驚くことに、飲み始めて一週間ほどで痛みが治まりました。吉村は、漢方薬の奥深さを身をもって体験したのです。その後、青木先生から「予防と健康のために」と勧められたのが、ハトムギ茶、雲南茶、ハブ茶、ベニ花という、「五養茶」の前身となる4つの漢方茶でした。この漢方茶を飲むようになると、生理痛やむくみも解消。75キロあった体重を、20キロ減量させることにも成功したのです。

